

## 木の岡ビオトープ自然観察会で認められた昆虫類

### (1)トンボのなかま

・コシアキトンボ、シオカラトンボ、イトトンボ類、チョウトンボ、アカネ類、カワトンボ。

### (2)バッタのなかま

・セスジツユムシ幼生、トノサマバッタ幼生、キリギリス幼生、ショウリョウバッタ幼生など。

### (3)ゴキブリのなかま

・モリチャバネゴキブリ。

### (4)カマキリのなかま

・ -

### (5)カメムシのなかま

・メダカナガカメムシ、アワフキの 1 種幼生、キクゲンバイ、オオヨコバイ。

### (6)コウチュウのなかま

・ゴミムシ類、オジロアシナガゾウムシ、ハムシの 1 種、ジョウカイボン、ナミテントウ、キマワリ、ズビロキマワリモドキ。

### (7)ハエのなかま

・クロバエ科の 1 種、キンバエの 1 種。

### (8)チョウのなかま

・アゲハチョウ、(キタ)キチョウ、モンシロチョウ、モンキチョウ、ヒメジャノメ、テングチョウ、ヤマトシジミ、メイガ科の 1 種、ヤガ科の 1 種。

### (9)ハチのなかま

・セグロアシナガバチ(飛翔中)、アリの 1 種

### (10)その他のなかま

※平成15年度 琵琶湖湖岸保全整備調査報告書(平成17年度3月)では、昆虫類: 14目108科414種が記録。

昆虫以外

- ・コウガイビル
- ・クチベニマイマイ

### コメント

晴れ上がるとともに、気温が上昇し、とても暑くなった。炎天下に比べると林内は涼しいが、汗はたっぷりとかく。事務局にお願いして百円均一の透明ビニル傘を購入していただき、逆さまにして、そこに虫をはたき落とす方法を説明し、眼についた虫がビニル袋に採集してもらった。

多くの参加者、特に子供たちの鋭い目もあり、様々な昆虫が得られた。採集後、こちら事務局に用意いただく図鑑で各自で名前を調べてもらい、不明のものは名前を聞いていただき、各自記録する形で進められた。

暑い中、小さな子供たちもいたので、熱中症などを心配したが、引き続き行われた植物の観察会と山野草の試食とともに無事終了した。